



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平 7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小山敏正

第80号

2008年

9月発行

【ブログアドレス】
http://plaza.rakuten.co.jp/nakanoakito

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

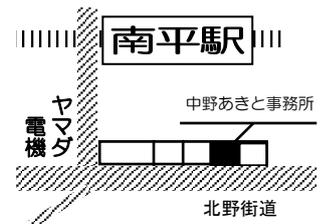
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

TEL042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



やっぱり「中止」しかない「後期高齢者医療制度」

つくろえない根本的欠陥

批判や怒りが収まらない後期高齢者医療制度。政府や与党は言い訳にやつきですが、根本的欠陥には口をつぐんだままです。世論に押され部分的に「手直し」をしても、そこからまた、不備や矛盾が生まれる有様です。年齢で差別するという「制度」はきっぱりやめ、各種世論調査が示すように、改めて討論する必要があるのではないのでしょうか。

口座振替が導入されたが

天引制度に対する怒りの前に厚労省は、口座振替を導入しました。しかし誰でもというわけではありません。

保険料を滞納せずに支払っていた人か、年金収入が低い人は、子どもなどの口座で引き落とす場合に限られます。ところが、預金額が不足し滞納扱いになれば天引が再開されます。

結局、厚労省のいう「利便性」のためというより、今後、どれだけ保険料を値上げしようが自動的に取り立てるといふ発想からの「確実な取り立て」がねらいであることは明らかです。

保険料は

2年ごとに値上げ

その保険料は、2年ごとに改定されます。そのとき75歳以上の人口増に連動して、保険料の負担割合を増

やしていく仕掛けになっています。

さらに医学の進歩で一人当たりの給付費が増えると、その分も保険料に上乘せられます。まさに「天井知らず」の値上げで、団塊の世代のピークが後期高齢者になる2025年には今の倍の保険料が見込まれています。

付きまとう

医療内容の制限

「医療は制限されることはなく、必要な医療は受けられる」厚労省の宣伝です。後期高齢者医療制度の特徴の一つである「担当医」制度は、慢性疾患の一つだけを「主病」とし担当医を決め、担当医に支払われる医療費は、月6000円の定額制です。

それを超える額は保険からは支払われません。結局、医療費の抑制が目的なのです。これでは満足な治療はできないとして、多くの医師会が後期高齢者医療制度に反対し「担当医」制度も拒否しています。

中野あきと事務所主催 講演会 「現代の蟹工船を語る」 開催される

8月23日、中野あきと事務所主催の講演会「現代の蟹工船を語る」が生活保健センターで開催されました。作家で、雑誌「ロスジェネ」編集長の浅尾大輔さんが講演し、約50名の方が参加しました。

プロレタリア作家・小林多喜二の「蟹工船」は、不安定雇用が大きな社会問題になる中で、時代を超えて20万部を突破する大ブームとなり、現代の若者の中に広がっています。

浅尾さんは、労働相談にも携わってきた自らの経験を生かし、豊富な実例をあげながら若者たちが抱えている問題を浮き彫りにし、解決の道筋を示しました。



講演する
浅尾大輔 氏
8月23日
生活保健センター

短 信

夏はいつも鮎釣りに出かける。腕はからきしだ。私の釣りは友釣りである。オトリに鼻環（はなかん）を付け、尾

びれの近くに鮎を引つ掛ける錨（針）を取りつけ川の中を泳がせると、野鮎が縄張りを守ろうとオトリに体当たりしてくる。これを掛けて釣るのが友釣りである▼鮎は1年で一生を終わる。秋に河口付近で産卵し親は死んでしまう。卵は孵化し海に下つて過（こ）し、春に川に戻る。川では苔を食べるので好い匂いがする。海と川では浸透圧の調整が必要であるが、わずか数秒で機能を切り替えることができる。自然の仕組みに感嘆する。▼水は底まで透け、川の音だけが聞こえる。自然にどつぷりはまり込んでいて自分を感じ、まさに至福の時である。釣りに行く道々で「後期高齢者医療制度廃止・日本共産党」のポスターに出くわす。えっ、と思う所にもある。街角や畑の脇、仲間たちの意気込みを感じ、思わずニヤリとする▼野鮎にならつて高齢者の医療と尊厳を犯す不埒な面々を、体当たりをくわし追い払いたい心境の人は多かる。その機会は近い。オトリにも似た小手先の「手直し」に、惑わされているときではない。(H)

保護者の運動が市を動かす

南平小学童クラブ移設問題

日野市は、南平小の学童クラブについて、これまでの校舎内教室が使用できなくなつたため、昨年、校庭の一部に独立した施設を建設することに明らかにしました。保護者は、マンモス化の現状もあり、「2クラス制」にすることや、移設計画は保護者の声も聞いてすすめるよう市議会に陳情を提出、全会一致で採択されました。

移設に当たっては、育成環境の悪化を招かないよう十分なスペースを確保すること。ワンフロアーに児童を70人以上を詰め込むようなことではなく、2クラスに分けて育成することが切実な要求となっていました。



ところが市は、ワンフロアー計画に固執し、陳情者が求めた面会を市長はかたくなに拒んできました。保護者の人たちは6月市議会に再度同趣旨の請願を提出。それでも市が態度を変えないため、市長宛の改善要望書も提出するなどの結果、市長面談が実現し、保護者の要求が全面的に受け入れられることになりました。昨年8月以来1年間にわたる粘り強い運動が実り、2クラス制が実現することになります。

8月下旬の大雨 市内でも被害 中野議員 現場を調査

8月下旬、東京地方は大雨に見舞われましたが、中野あきと市議は29日、平山6丁目と南平2丁目の土砂崩れの現場を調査しました。

南平2丁目の現場は深夜2時ごろ、高さ10m、幅4mほどの土砂が崩れ、駐車場の自動車が被害にあいました。自動車が土砂をせき止めたため、家屋内への流入はありませんでした。被災された方は「住んで25年になるがはじめて」と話していました。



日野市のCO2削減運動 実行委員会に参加して 都議会議員 村松みえ子

みえ子の 飛びある記



地球温暖化への取り組みは、待ったなしです。日野市においても「ふだん着でCO2を減らそう」と8月24日、市民、企業、団体、大学などと連携して取り組む実行委員会が設立され、私も地元選出の都議会議員として相談役となりました。

日野市全体のCO2排出量は、産業部門が全体の約37.5%(05年度)で最も多く、次いで家庭部門、運輸部門、業務部門となり、90年度に比べ17.5%も増えています。それぞれの企業、団体、個人が、日常的にCO2を減らすための努力は欠かせない課題です。そのためには、市民的な議論も必要ではないでしょうか。

私は、CO2を出さないことと同時に、緑地保全などCO2を吸収して減らす方法も重視することが大事だと考えます。多摩地域に残された貴重な緑と農地を守ることは、都議である私自身の大きな課題でもあります。

◇中野議員 9月市議会質問内容◇

1日から9月市議会が始まりました。中野あきと議員は3日、以下のような内容で本会議一般質問を行いました。詳細は、次号または、議会終了後全戸に配布する「共産党・議員団ニュース」をご覧ください。

①高齢者差別に医療制度は廃止しかない。

◇市の基本認識、保険料口座振替の説明責任など…

②生活保護世帯への通院交通費カットは許されない。

◇日野市の対応など…

③中学3年生までの医療費を無料に。

◇市長の基本的見解と、東京都への働きかけ。



えっ、1人3分で…?

市長所信表明に対する質問時間を制限

「市議会本会議をインターネット配信する」日野市はそのために昨年、1613万かけて設備やシステムの整備を行いました。現状では市民は、市議会を傍聴するか会議録を見ない限り直接様子をすることはできません。インターネットは市長と議員のやり取りを知る画期的手段です。

ところが自民、公明、市民クラブ(民主も含む)の3会派は、市長の所信表明に対する質問を「議員一人3分に制限する」「1回だけの総括質問で、再質問はしない」などの提案をしてきました。

市長の所信表明は、予算案を提出する3月市議会の冒頭に行われ、各議員が質問を行います。現状では時間制限はありません。提案に従えば、会派ごとに1人の議員に時間を集中することはできますが、1人会派の場合3分では、早口言葉でも内容を表明することは不可能でしょう。必要な範囲を超えた制限は、質疑を形式的なものにし、市民にとっても分かりづらい内容にならないでしよう。

《08年10月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

10月 2日(木)

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

10月 9日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 TEL042-582-0504

中野事務所 TEL042-599-3350